

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

大学院	電気通信学研究科	博士前期課程	システム工学専攻
氏 名	陸 望雲	学籍番号	0635037
論 文 題 目	事業ライフサイクル指向需給戦略マネジメントの一研究		
<p>要 旨</p> <p>企業のサステイナブル経営には、事業ライフサイクルの各ステージにおける短期の「需給マネジメント」、および、需要開発計画、供給システム計画からなる中期の「需給戦略マネジメント」が重要である。さらに企業のサステイナビリティ向上には、製品・事業ライフサイクル・ステージの変化を考慮した長期の「事業創造戦略」が必要となる。</p> <p>本研究では、この内の「需給戦略マネジメント」を、主な研究対象とする。需給戦略マネジメントでは、事業創造戦略が立案する事業ライフサイクル・ステージに関するビジネスプランを基に、長期的な視野に立った利益最大化を目標とした需要開発計画、および、供給システム計画を立案する。</p> <p>すなわち、本研究では、事業ライフサイクル指向による需給戦略マネジメントにおいて、事業ライフサイクル・ステージの移行による需給関係の動的変化と、それに対応した供給システム計画を事業ライフサイクルシナリオとし、事業ライフサイクルを通して利益を最大化するシナリオの生成をおこなう手法を提案する。この手法では、事業の導入期、成長期から衰退期までの事業ライフサイクルの各ステージにおいて、収益最大化を目的とする事業創造戦略のビジネスシナリオに基づく各期の需要と利益をそれぞれの基準値とする。その上で、供給システム計画のコストデータおよび供給能力に基づき、事業ライフサイクル・ステージごとの需給戦略図表から求める各期の需要と利益を算出し、それらと基準値との差を需給差と利益差の時系列変化として整理・分析する。その結果から、事業ライフサイクルにおける利益最大化を達成する事業ライフサイクルシナリオを作成する。</p> <p>本研究の提案手法について説明を行うとともに、手法を国内清涼飲料企業に適用し、その有効性について分析を行う。さらに、本研究の提案手法に関する今後の課題と可能性について、考察を行う。</p>			